

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年4月20日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	49	11	2	19	28	60
令和6年	56	11	0	18	35	64
前年同期比	-7	0	2	1	-7	-4

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	2	4.1%	2	0	0	2
	後立山	14	28.6%	2	0	7	21
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	16	32.7%	4	0	7	12	23
中央アルプス	6	12.2%	2	1	2	2	7
南アルプス	1	2.0%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	9	18.4%	2	0	5	3	10
その他の山岳	17	34.7%	3	1	4	11	19
計	49		11	2	19	28	60

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	13	26.5%	7	0	7	0	14
転倒	11	22.4%	1	0	10	0	11
病気	2	4.1%	0	0	0	2	2
道迷い	11	22.4%	0	0	0	18	18
落石	1	2.0%	0	0	1	0	1
雪崩	1	2.0%	0	0	0	1	1
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	10	20.4%	3	2	1	7	13
計	49		11	2	19	28	60

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0	3		
20代	0	0	0	5	5	18	0	0	0	1	1	6	22	
30代	2	2	3	3	10	34.6%	0	0	1	2	3	13	36.7%	
40代	2	0	4	2	8	20	0	0	0	0	0	8	24	
50代	3	0	1	8	12	38.5%	0	0	4	0	4	16	40.0%	
60代	2	0	5	3	10	14	0	0	0	0	0	10	14	
70以上	2	0	1	1	4	26.9%	0	0	0	0	0	4	23.3%	
計	11	2	14	25	52		0	0	5	3	8	60		
比率	86.7%						13.3%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（4/14～4/20）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
4月17日	ハケ岳連峰 阿弥陀岳	男	74	負傷	滑落	単独で阿弥陀岳から下山中、滑落、負傷
4月19日	ハケ岳連峰 横岳	女	54	負傷	落石	3人パーティで石尊稜をクライミング中、落石により、負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、2件の山岳遭難が発生し、2件ともハケ岳連峰で発生しています。うち1件はバリエーションルートをクライミング中、落石により負傷したものです。バリエーションルートは、自分自身でルートを見極めながら登り、登り切った時の達成感は、一般ルートでは味わえない醍醐味があります。ただ、整備された一般ルートとは違い、バリエーションルートはリスクがあることを理解した上で、自分のレベルに見合った登山をしましょう。

また、落石は人が発生させるものもあれば、自然に発生するものもあります。雪面上で転がる落石は音も立てずに相当の勢いで転がってきます。休憩する際は、落石の恐れが少ない場所や山側を向いて休憩するなどし、落石には細心の注意を払いましょう。

今週末から春の大型連休が始まり、登山を計画されている方もいるかと思いますが、昨年、春の大型連休中、26件の山岳遭難が発生し、3人の方が亡くなっています。入山前には必ず登山計画書を提出するとともに、無理なく自分のレベルに見合った登山計画と登る山に合わせた装備品を携行し、安全な登山を心掛けましょう。